

平成31年度（令和元年度）事業報告書

自 平成31年 4月 1日
至 令和 2年 3月31日

概要

新型コロナウイルスによる感染拡大防止のため、3月上旬からの全国一斉臨時休業の煽りを真っ向から受ける中、4月以降の学校給食再開に向け、給食用物資の安定供給に向けた経営努力を必死に続けたものの、結果として下記のとおり大きな損失を受けることとなった。

また、全体の動きとしては「学校給食関係諸機関との連携を図り、県内全域にわたり、学校教育活動の一環として行われる学校給食の円滑な実施のため、学校、幼稚園及び認定こども園等に対して、給食用物資の安定供給及び安全性の確保、食育の支援及び学校給食の普及充実等に関する事業を行い、園児、児童生徒の心身の健全な発達に寄与すること」の目標を達成するため、昨年度同様、次の事業を柱として行った。

- | | |
|---|---|
| 1 | 学校、幼稚園及び認定こども園等の給食用物資の安全確保・安定供給事業及び衛生管理に関する事業 |
| 2 | 学校給食の普及充実及び食育支援に関する事業 |
| 3 | その他この法人の目的を達成するために必要な事業 |

具体的には以下のとおりである。

- (1) 学校、幼稚園及び認定こども園等の給食用物資の安全確保・安定供給事業及び衛生管理に関する事業

- ① 物資供給額（一部切り上げ）

	令和元年度	平成30年度	差	増減率
合計	27億1,027万円	28億3,175万円	△1億2,148万円	△4.2%
主食用物資	16億0,999万円	16億9,764万円	△8,765万円	△5.6%
副食用物資	11億0,028万円	11億3,411万円	△3,383万円	△2.9%

- ② 物資審査会実施及び取扱物資品目

・物資委員会を4回及び栄養管理委員会を3回実施

九州各県共通選定品	23品目
県内選定品	21品目
県産品	176品目

[課題]

- ・九州共通選定品の会議時期や食数の見直し
- ・県内選定会への物資提案方法や在り方

- ③ 輸送費（パン・米飯・副食用物資を県内同一価格で供給）

	令和元年度	平成30年度
輸送費	4,616万円	4,964万円

[課題]

- ・主食、副食とも離島地区への輸送費やパン輸送費についても人手不足による経費の増加
- ・定期配送ルートの見直しや定期以外の納品等について見直し
- ・一部の配送ルートではコスト（人件費、燃料費）に対して、納品金額が大幅に下回り走れば走るほど赤字

④ 品質管理室における自主検査及び外部検査依頼（安全安心を確保）

細菌検査	自主	858検体
	外部	1検体
理化学検査	自主	53検体
	外部	0検体

⑤ パン加工委託業者を対象とした各種研修会

- ・令和元年7月岡崎製パン所で「パン品質審査会」を実施
- ・令和元年7月県給食会で「学校給食用パンの技術講習会及び衛生管理講習会」を実施
 - （ア）冷凍生地パンを使用し、発酵・加水量・食塩量等の比較をすることで日頃の製造に生かすための研修
 - （イ）実際に学校給食で提供されているパン給食メニューを試食し、学校現場の実態やパンと副食類との組み合わせ等を研修

(2) 学校給食の普及充実及び食育支援に関する事業

- ・令和2年2月県給食会で長崎和牛を給食に活用するための研修会を開催
(令和2年2月1日 講師：赤崎奈穂子 参加者：栄養教諭、保護者 約30名)
長崎和牛を使って給食向けの5品を調理・試食
- ・栄養教諭等の研修会において、取引先企業を招いた展示会を開催
(令和元年12月4、5日)
取引先20社出店、来場者数約200名

① 主催事業

- ・広報誌「学校給食だより」を3回発行
- ・「学校給食調理講習会」を1回（1日間）開催
- ・第9回「学校給食感謝祭2019」を1回（1日間）開催
- ・第6回「おいしいよ！食べよう長崎県産品」図画コンクールを1回 開催
- ・図画コンクールの作品を使用した食育カレンダー 6, 300部配布
- ・「学校給食管理システム（長崎Qネット）研修会」3回開催
- ・「学校給食管理システム（長崎Qネット）」の個別訪問対応12件

② 研修会等への補助事業

関係団体及び助成先

- | | | |
|---------------------|----------|--|
| ・長崎県学校給食共同調理場連絡協議会 | 225,000円 | 例年、定額での補助金支給であるため、今後は各研修会等に対して補助を行うよう見直し |
| ・長崎県学校栄養士会 | 700,000円 | |
| ・長崎県学校給食研究会 | 645,000円 | |
| ・長崎県学校給食研究協議大会（諫早市） | 400,000円 | |
| ・五市学校給食会 | 100,000円 | |

③ 食育のための補助事業

- ・市町主催の親子料理教室
- ・学校や学校給食共同調理場等主催の研修会等
(経費の補助事業8件52,010円 一般物資補助事業23件246,257円)
対馬市・五島市・南島原市他 長崎市・対馬市・西海市他

(3) その他この法人としての目的を達成するために必要な事業
県給食会の存続に向け、10年、20年後を見据えた事業展開や経営改革

①パン給食存続危機に対する調査研究

- ・離島地区を中心に冷凍パンの供給推進
- ・人口の減少やパン給食実施回数の減少、同一市町内におけるパンの種類や使用日のばらつきなど、安定したパン製造を維持・継続するため、引き続き各自治体等との連携強化

②災害等による突発的な売上減少に備えた経営改革

- ・経費削減や建物、設備等の膨らむ経費をできるだけスリム化する一方、将来を見据えた必要な経費への充足等、抜本的な見直し

③即売会について

- ・新型コロナウイルスの感染拡大防止により全国一斉臨時休業
学校等へ食材を販売する事ができず、賞味期限切れ等が懸念されたことから一般消費者へ販売
予想を超える人数の来場により、近隣や周辺道路一带に迷惑をかけた